

「旭川市立小・中学校適正配置計画(改訂案)」に対して寄せられた御意見

○ 意見提出手続の期間:令和元年11月1日(金)～令和元年12月16日(月)

○ 意見提出者:28人, 0団体

※ 御意見につきましては、原文どおりを基本としていますが、誤字脱字等は修正を行っています。

※ 原文には個人名などが記載されているケースがありますが、そうした部分は公表になじまないため、【 】で表記しています。

判別不能な場合も【 】で表記しています。

受付番号	御意見
1	<p>江丹別小中学校について。 統廃合について考えるのに嵐山と江丹別では環境、距離等条件が違いすぎるかと思えます。冬の雪もですが、嵐山が神居・忠和と共に問題を考えていくように、江丹別は路線バスのルートと合う春光台の方が考えやすいのではないのでしょうか。 統廃合を考えるのに通学距離が20kmは離れますが、鷹栖町と同程度のスクールバスの運用をお願いできるのなら、まずは中学校は検討、話あっていき、小学校についても中学校のあとにより良い方向へ考えていける事を望みます。</p>
2	<p>本市においては、一部の地域では、小学校の通学区域が複数の中学校の通学区域にまたがっている為、一つの小学校の卒業生が複数の中学校に分かれて進学する状況があり、小・中学校の通学区域の整合を図って行く事が必要だ。本市の小・中学校校舎は、その多くが児童生徒が急増した昭和60年代以前に新築又は増築されており、改修や改築を行う必要が生じている。通学区域を変更する場合には、個々の学校等の実情に応じ適切な移行期間を設ける。標準的な通学区域を次の通りとし、遠距離通学者には必要な通学支援を行う。児童生徒が統廃合の実施時に新たな環境に円滑に移行する事が出来る様、小中高校連携・一貫教育の取組として実施している学校間の交流活動を日頃から積極的に行う様に努める。それぞれの学校ごとに通学距離や住民の生活圈等本市の歴史的な経過の中で通学区域を定め、児童生徒の住所により通学する小・中学校を指定している。学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす活動の場であり、児童生徒の生きる力を育む為の教育施設として重要な意義を持っている他、放課後児童クラブの設置や学校施設スポーツ開放事業の実施、更に、災害時には避難所となる施設だ。統廃合の対象校においては、児童生徒が統廃合の実施時に新たな環境に円滑に移行する事が出来る様、小中高校連携・一貫教育の取組として実施している学校間の交流活動を日頃から積極的に行う様に努める。(その他)・小中高校の一貫学校の12年間の目標を目指す。</p>
3	<p>北鎮、末広、春光小学校の学区を見直し、啓北中学校の存続を望みます。</p>
4	<p>本案に含まれる大町小学校の統廃合計画に反対です。 案の中では通学距離が小学生では4キロまでは遠距離通学ではないことになっており、4キロ未満の通学距離では通学支援もないことになっていますが、交通量の多い道もある場所で、小学校1年生がその距離を歩けると想定していることに疑問と憤りを感じます。 小学校1年生の遠足行事ですらせいぜい1～2キロ程度しか歩きません。毎日登下校でそれ以上の距離を歩くことが体力的にも時間的にもどれだけの負担になるかを考えず想定しているのでしょうか？ 学校が遠い場所に住む親は子の送迎の負担を負えということでしょうか？ 学校の近くへ引っ越せという事でしょうか？ 統合される側の保護者ばかりが負担を負うことになりかねず、子供の足で登下校するとなれば安全とは言えない登下校になることが懸念されます。 少子化が進んでいる現状は理解しますが、大町小学校に限らず小学校の規模は大きく固めるのではなく、より多様できめ細かい指導が可能な小規模であるべきだと思います。現在の大町小学校の規模は現代の小学校として旭川の未来を担う子どもたちの学びの場として、先生方の目の届き方、児童への関わり方、児童どうしの関係性など、どれをとってもちょうどよい規模であると感じています。 画一的に数だけで線引きをした実情を無視した計画は廃案にすべきだと思います。</p>

受付 番号	御意見
5	<p>日章小学校 11月21日に開催されました上記適正配置計画説明会を受けての意見書となります。 *当日は、意見を述べさせて頂き、記録もして頂いたようですが、再度、要望について、まとめてみました。</p> <p>① 教育委員会の適正配置計画について、特別、反対しているのではない。但し、旭川市中心市街地活性化計画で中心市街地の人口増を目指しているのであれば、中心市街地の小学校を廃校にすることは、行政の方針に背くのではないかと。</p> <p>② ①の意見については、日章小学校の歴史的沿革を加味した陳情書(意見書?)を平成30年9月14日付で、市長と教育委員会教育長に提出しているので、パブリックコメントに加えて頂きたい。</p> <p>③ 日章小学校と新町小学校を統合するのであれば、両校合併の通学区域の中心点に近いのは、日章小学校である。校地も広いし、日章の森もある。歴史的経緯を見ても、新町小学校は日章の分校であり、教育環境を見ても日章の周りには常磐公園があり、公園プールがあり、市立図書館・市役所・勤労者福祉会館・ときわ市民ホール等、公的施設が揃っている。交通の便も不自由しない。市内でも、小学校の立地としては、これ以上の適地はないと思います。</p> <p>④ 放課後児童クラブ、転勤者の学校選択の問題、郊外から共働きで市中心部に勤務する方たちの問題等については、その方たちの意見書にお任せしたいと思います。</p> <p>⑤ この意見は、当日、発言していませんが、災害時の防災問題について意見を加えさせて頂きませう。</p> <p>平成31年3月に市のハザードマップが更新されました。これによると、日章小学校は50cm程度の浸水地域となるようです。片や新町小学校は、5m以上の浸水地域に色分けされております。小学校は、市の指定避難所となる訳ですが、来年襲ってくるかもしれない1000年に一度の水害の時、新町小学校は避難所の用はなさないでしょう。</p> <p>市民として、より安全な場所への小学校設置を望むものです。</p>
6	<p>先日の日章小学校で参加した、保護者です。これから、入学を控える買物公園で働く人から、小学校には留守家庭児童会ある?と聞かれます。日章を入学の選択肢にできないのは明らかに、留守家庭児童会がないことです。引っ越したり、送り迎えをしながら知新、新町を選択する家庭も多いです。学区内の子ども的人数にとらわれず、特認校の位置付けにした場合、どれぐらい入学希望者の変化が起こるのか。未知数ではありますが、従来の教育委員会の常識にとらわれない、新しいことに取り組んでいただきたいと思っております。少人数に不満はないです。附属小(卒業生です)のように、日章が小学校教育の独自の実験場所になっても良いなと思っております。どうぞ、いろいろな意見をなくすことなく、進めていただければと思っております。</p>
7	<p>現在日章小学校に子供が通っています。 人数が少ないからと統廃合にしてほしくはないです。 街の中心部にあるので、お子さんと一緒に通勤出来るように特別に学区外からの子どもを受け入れると言う案も先日説明会で出ていました。とてもいいと思っております。それと同時に放課後児童クラブも設置するとか。日章は百人一首大会や相撲大会など独特の教育があり是非残して欲しい授業です。残念ながら、相撲大会は知らず知らずになくなってしまったので、もしかしたら、誰も何も発言しなかったから決まってしまったのかなと後悔しています。今回の統廃合の事も保護者が何も発言しなかったら、知らず知らずのうちに事が進んでしまうような気がしています。本当に地域と保護者の賛成がない限り統廃合はないのですよね?子供が卒業しても、日章は続いてほしいです。 できれば日章が他と違う特別な学校なので人数が少なくても統廃合はあり得ませんか?ぐらいに旭川市民に発表してたらここ何年の入学人数は減っていなかったと思っております。はじめから人数を少なくして統廃合にする予定だったのですか?疑問に思う事がひとつひとつ解決して、日章のあり方を保護者と教育委員会と市民と話し合いができればいいと思っております。 色々学校はあるとは思いますが、日章は日章だけなので、是非残していただきたい。と思っております。以上よろしくお願いたします。</p>

受付 番号	御意見
8	<p>わが家は転勤族であり、旭川に明るくなかったこと、双方の親兄弟も旭川にはいなかったことから、当初父親に会社が用意した郊外の賃貸住宅から、中心部に住み替えた。</p> <p>母親の仕事の都合上、日章小に通わせているが、少ない生徒数のうち、転勤族と、我が家同様親の仕事の都合上、越境通学している生徒の割合は、少ない。</p> <p>日章小をなくすことは、イコール街の中心部に、旭川以外の土地からの、子どもがいる家族を受け入れないこと、そして旭川市中心部で働く親に、不便を強いることであると思う。これは、市にとっての損失ではないだろうか。</p> <p>旭川市を外に向けて開かれた街にする為には、中心部、しかもオフィス街に隣接する日章小学校を、閉校の不安から解放する必要があると考える。</p> <p>NHKという、全国につながる放送機関がすぐそばにあり、何かと取材対象になっているのを活かし、「旭川」を発信できる小学校と考え、特認校や小中一貫校の可能性、放課後児童クラブと既存スポーツ少年団や習い事等を一体化させる可能性、地域の高齢者に小学校の運営の一部を委任する可能性等について、あらゆる方面から検討するのは、ただ日章小学校を存続させる為というだけでなく、旭川市の為になるのではないか。</p> <p>道外から旭川市に来た人間として、感じるところである。</p>
9	<p>旭川市初の公立小学校として127年の歴史がある日章小学校を残してほしいです。少人数であるからこそ経験できる事もあり、また地域の方とも良好な関係を築いています。街の活性化の基盤となる住人が増える、そのために重要な役割をもっている日章小学校の存続を希望いたします。</p>
10	<p>地元がこちらではなく、福島県なので、まだ地域名もよくわからずどのくらいの変化がおこるのかもわからないのですが、いくつか感じたことがあるので意見だけさせていただこうと思います。</p> <p>適正化の学級数が多いなと感じました。地元より旭川は大きい学校が多い印象があります。集約できるメリットはあると思いますが、これで先生方の目が生徒一人一人に行き届くのだろうか？という不安があります。</p> <p>冬が長く雪が降る地域なので、集約化で冬季の通学に不便がないかが不安です。</p> <p>古い校舎の学校が目立ち、まだ少し先ですが子供をあまり通わせたくないな…と感じます。集約化後は校舎を綺麗にしてほしいです。</p>
11	<p>意見募集があると聞き、初めて投稿させていただきました。日章小学校の前のアパートに住む一市民です。先日結婚し、まだ子供もおりませんが、将来的に市の中心での子育てを想定しています。</p> <p>日本で初めての歩行者天国となった買物公園で、子供たちが歓声をあげながら走り回り、地域で見守り育てていくビジョンを亡くしたくはありません。人口減少のなか、中心市街地が子育ての空洞化になってしまえば、子育てしやすい上川管内近隣へ人口流出も考えられます。特色ある学校づくりの声も聴きます。どうか、教育の選択肢のある未来をお願いします。</p>
12	<p>日章は建物は古いかもしれないが、街中にあるからこそ残すべきだと思う。</p> <p>多様な人を受け入れたり、英語を得意とするとか、数学を得意とする特化した小学校にするとか検討できないものか。</p> <p>生徒数が減ってきている原因は市の責任でもあることを認識されたい。なくなる噂が先行して、実態がよく掴めないのに人は噂に敏感になります。</p> <p>通う中学校で適正配置を決めていく、それしか決める方法はないのか。</p> <p>市側の努力はどこでしているのか？文科省から出されているガイドラインにただ従って適正配置を決めているだけにしかみえない。霞が関から指示される適正は地方の実情に合致するのか？</p>
13	<p>過小規模校の有効活用</p> <p>学校に行けなく悩んでいて、普通に学びたい子供たちのために通学区を取り除き、通学できる学校の試みを望みます。(通学条件の緩和)</p> <p>将来の有る子供たちのために嵐山小中学校が有ってほしいですし、子供たちのためにさまざまな試みをする事が今、大切だと思います。</p> <p>地域としても学校をみまもるという事で一致しています。</p> <p>旭川市の教育の一環として、活用できる学校の存続を望みます。</p>

受付 番号	御意見
14	<p>大町小の統合について、100人以下という理由のみで、統合のリストにのせてしまうのは、とても乱暴に感じました。どの様に今、学校が、機能しているのか、どの様にそこで子供達が過ごしているのか見る事もなくメリットデメリットを決め、まとめていくやり方に疑問を感じます。「すぐに統合はしない」との内容、「合意がなければ」との内容、ありましたが、計画にのせられる事で、大町小を選ばない家庭も出てきています。その様な事も含め子供達の未来のために、きちんと、大人達が話し合わなければならぬと思います。</p>
15	<p>今、大町小学校に息子と娘が通っていて、生徒数が少ないけれど、逆にそれが、つながりをうみ、よい教育につながっていると感じています。 少人数の学校もあってもよいと思います。大町小学校の存続のほうよろしく願います。</p>
16	<p>私の長女は次年度、第二期統廃合計画に挙げられている中央地区に所在する日章小学校に在籍しております。少子化や環境の変化により本計画を策定、遂行されていくと考えますが、本計画のなかで、学校の小規模化は質の高い教育が提供出来ないという部分について、疑義があると考えます。日章小学校は明治26年より開校された126年もの伝統ある小学校であり、旭川市としても、過去あらゆる取り組みをされた、いわば市内小学校のフラッグシップと言っても過言ではない学校であると考えます。確かに先生方のマンパワーは不足していると思いますが、生徒減少イコール統廃合の考えの前に、市側と何かよい方法を一から考えていくことから始められないでしょうか。子供は環境の急激な変化に対して、対応が非常に難しいものです。極力生徒が現状の環境で、少数でも質の高い教育等を教員や親そして旭川市などの大人たちが子供達の安心できる生活の充実をサポートしたいと考えますので統廃合の計画の見直しを含めて検討のほど宜しく願います。</p>
17	<p>先日は、適正配置についての説明に来ていただき、ありがとうございました。 江丹別小中学校は、築45年の校舎で、老朽化が進み体育館の雨漏りを始め教室の床の剥がれ等が目立ちます。日本一の寒さを何度も経験し、気温だけでなく降雪積雪も限りなく多い豪雪地帯であるにもかかわらず、廊下の窓や玄関戸は一重ガラスで冷気がそのまま伝わります。また、災害時の避難場所になっていますが、過去に1世帯が避難してきた時、広い体育館の片隅に3人が座ってコークストープでは暖も取れず、結局江丹別支所に移動しました。最近の災害を考えると、2階等々の高い所への避難も考慮せねばならないのですが、支所は平屋建てです。2階のある校舎は老朽化が進み、安全性が低いです。依って、江丹別地域の中心となる小中学校は、校舎建て替えの時期を迎えていると切実に感じている次第です。 ①老朽化により、児童生徒の学校生活に影響を及ぼす。 ②乳幼児が増加傾向にあり、学齢期に達した時、老朽化に拍車がかかる。 ③災害時の避難場所に適していない。 高齢化が進む江丹別では、10年後・20年後に児童生徒が減少したとしても高齢者向けの施設としても活用できます。 江丹別住民が旭川市民として市街地と格差のない生活をと考える時、核となる新校舎の建設を強く望みます。</p>
18	<p>「大町小の存続を強く望みます!!」 いつもお世話になっております。先日は御説明ありがとうございました。 御説明と配布された資料の地図を見て、現在の計画にはかなり無理がある事を実感しました。資料にある地図を見ても、「スクールバスを・・・」という話もありましたが、子供にとっても様々な制約ができそうで、良いイメージができません。 小規模校のデメリットや市の財政を語る前に、子供達最優先での御判断をお願いいたします。 ”小規模校ならではの”のメリットの方が、先日の御説明にあったデメリットよりも多くあり、実際に大町小に通う子供達を見て実感しています。 もちろん子供達にも小学校と相性があると思うので大規模校に通う方が相性が良い子供もいるのかもしれませんが、そうであれば、なおさら、両方の規模を選択できる可能性を市全体、またはそういう選択ができる旭川市に転入できる”親子”のためにも、児童数や財政を短期的な将来で語る事なく、長期的に子供達や旭川の明るい未来を考えてほしいと思います。というか、強く望みます！ それでは引き続き、子供達のためによりしく願います。</p>

受付 番号	御意見
19	<p>11月18日に大町小学校で開催された改訂案の説明会に参加させていただきました。</p> <p>息子が大町小の【学年】に在学しており、自分も大町小の卒業生です。大町小の窓からは大雪山や旭橋が見え、堤防に面しているため緑が多く静かな環境で、校区内には花咲スポーツ公園や護国神社があり、常磐公園内の文化施設からも近く、スポーツ・文化の両面で大変恵まれた環境にあります。児童数は少ないですが、教育環境の良さと地域の活性化を考え、是非この地域に小学校を残していただきたいという強い希望があり、以下の3点についてご検討をお願いいたします。</p> <p>1. 大町小学校を統廃合計画の対象から外していただきたい。</p> <p>当初の計画から、大町小学校は統廃合計画の第2期の対象校となっておりますが、説明会では統廃合の計画に入っても保護者や地域の方々の合意がなければ統廃合は行いませんと繰り返し担当者の方が説明されておりました。現時点で統廃合を反対している保護者や地域の方々があり、統廃合に合意する見込みが未定なのであれば、ブロック別計画の統廃合の対象校から外していただき、東鷹栖中と同じように注釈で「※小規模校であるが、この地域の存続や発展の中核的な施設として統廃合の対象としない。」とはできないのでしょうか。大町小の校区は古くから住んでいる人が多く、高齢化が進んでおり最近では空き地も多くなって参りました。空き地は売りに出されておりますので、新築を考えておられる子育て世代の方々にどんどん転入してきていただきたいところですが、小学校がなくなるかも知れない地域にわざわざ新たに家を建てたいと考える人は少ないと思います。空き地はあるのに、児童が増えない理由のひとつに大町小が統廃合の対象になっていることがあるのではと考えます。大町小の校区は子育てをするには最適な環境です。統廃合の心配がなくなれば、転入者も増えると思いますので大町小の児童を増やす計画と一緒に考えていただきたい。</p> <p>2. 大町小学校の校区を見直していただきたい。</p> <p>児童の数が100名に満たないことが統廃合の理由となっておりますが、そもそも大町小の校区は校舎の背面が堤防で花咲スポーツ公園までを含んでいるため、校区としては広いが宅地の部分が少ないと思われます。将来的に小・中学校の通学区域を見直す計画があるので、北星中に進学する児童が住んでいる大有小の校区の一部を大町小の校区としていただければ、100名を超えることも可能かと考えます。また、この地域は交通の便が良いため、富沢小のような保護者が車で送迎しないと通学できない特認校とは違い、児童が1人でバスで通える位置にあります。多様な児童の受け皿として、小規模校での教育を望む保護者の児童が校区外からも通えるような通学特区のような配慮をしていただくことで、児童数を増やすことはできないでしょうか。</p> <p>3. 小学校時代の教育に本当に必要なことを考えていただきたい。</p> <p>小規模校では集団の中で多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が少ないとされておりますが、小規模校のデメリットを強調するのではなく、小規模校だからこそできることやデメリットの緩和策を考えてもらえないでしょうか。会議をインターネットで行う時代です。いろいろな可能性があると思います。また、小学校時代の6年間は切磋琢磨するよりも、大人から1人1人の存在を認めてもらいお友達と助け合ったり協力したりしながら過ごすことで、豊かな人生の土台づくりになると考えます。大規模校のメリットも十分理解しておりますが、いくつかの小規模校を残すことで大町小の児童だけでなく多様な教育の機会の提供をするということを考えていただけないでしょうか。</p> <p>将来、児童の数はますます減って行きます。そして小・中学校での教育に求められることはますます多様化してくると思います。そのような中であっては、小学校は100名前後の小規模校こそがこれから求められるのではないのでしょうか。</p>

受付 番号	御意見
20	<p>旭川市立大町小学校の統廃合について反対致します。大町小は小規模な学校ですが、そこで学び育った子供達が大人になり親となって自分の子どもを大町小に通わせている世帯が何世帯もあります。この学校に自分の子どもを通わせたい、そう思える学校だったからだとその方々はおっしゃっています。大町小での6年間は、かけがえのないものだったようです。私の子どもは知的障害があり、大町小の特別支援学級に所属しています。子どもを入学させる上で、少人数制で先生が生徒一人一人に目が行き届き個々に対して合理的な配慮が出来る学校を望んでいました。大町小は生徒数が少なく、生徒1人1人に目が行き届くため、個々の特性を考慮した対応が来ています。いじめられたこともなく、元気に通うことが出来ています。先生、生徒、親同士の距離感も近く親近感を持っています。人と人とのつながりが薄れていく現代にとっては人とのつながりはとても大切なことだと感じます。大町小では運動会や学芸会その他行事の企画、司会、音響、照明などを生徒主体で行っています。ここでの学びで、人との関わりや、責任感、人への思いやり、自分から主体的に動くことの大切さを学びます。でも、これは少人数で先生方が一人一人に丁寧に教えられる環境にあるからだと感じます。勉強面においても一人一人の学力の進み具合に応じて配慮することが出来ています。大町小では長期不登校児童数はゼロです。現在学校教育では、障害のある人と障害のない人が同じ場で学ぶインクルーシブ教育の移行を見据えています。その点においても大町小は適していると思います。障害があるなしに関わらず、どの生徒に対しても、その子の特性を考慮した合理的配慮と、集団に焦点をあてるのではなく個人に焦点をあてていく教育が可能になると思います。その為には、少人数制の学校である事や、教員の数が足りている必要があります。このことを考えても大町小は子ども達にとって最高の環境です。大町小を卒業した後、一気にクラスの人数が増えますが、大町小で培った経験から人との関わり方や仕事に対する責任感が養われ、困まることなく、活躍出来ていると卒業生から聞いています。何より大町小在校生、歴代の卒業生がこの学校がなくなってしまうかもしれないことを、とても悲しんでいます。子ども一人一人が大切にされるこの素晴らしい学校の歴史に幕をおろすことはしないで頂きたいです。いつまでもこの校風が続いて行ってくれることを心から願っています。</p> <p>国の政策で教員の削減を求めており、教育にかける予算を減らしていく方向にあるようですが、我が国を担う未来ある子ども達のための予算を減らすのではなく、教育以外のことで経費を削減することを考えて頂きたいと願っています。</p>
21	<p>我家は【住所】にあります。私の仕事の関係で娘が大町小学校にお世話になっています。今回説明会にも出席いたしました。今、子ども達をとりまくいろいろな問題の中で一番どうにかしなくてはいけないと思っている事は、”いじめ””不登校””自殺”の問題だと思っています。しかも今年の10月18日付新聞によると、全国で小・中・高合せて”いじめ”は前年比より31.3%増(道内は64.4%増)、そして”不登校””自殺”も同じように増加しているといっています。</p> <p>”楽しい学校生活”とは逆の方向に進んでいるようです。こうなると”各学校がどのように対応して行くか”ということにならない規模の問題になっていると思います。ここで私が思うことに小規模校をなくして行くという方向ではなく、この問題を少しでも明るい方向に持ってゆく”小規模校をベースにした進歩的な実践が大切なのでは・・・”ということです。幸い、大町小学校は、先生達も一生懸命ですし、本当に失くすのは考えられないくらいいい学校です。大きな集団では学校に行けなくとも、小さい学校ならどうでしょう？とにかく仲間と一緒にいろんなことを体験し成長してゆく中で未来への希望が持てたり、将来、旭川市を活性化してゆく大きなうねりが生まれると思います。なくすのは簡単です。”いいものを生かす”子ども達の未来と旭川の未来のために！</p>

受付 番号	御意見
22	<p>子供達は、一人一人、個性も特性も違います。型抜きで抜かれたように、全く同じであれば、児童数が1クラス30～40人の学校でも、過ごせるかもしれませんが、しかし、子供達の中には、大人数の中で、臆病になってしまい、本来の”自分らしさ”が出せない子や、一括の授業に、ついていくのが大変な子、先生の見守りが必要な子、少人数の方が精神的に安心する子、など... 繊細な子どもたちに優しい学校は、絶対に必要です。大町小学校は、そんな子どもたちを、”小さな学校”だけれど、大きく包み込んでくれる学校です。</p> <p>最近、多様化という言葉が当たり前になってきましたが、学校教育においても、多様化で、大規模学校、小規模学校、両方、存在してもよいのではないのでしょうか。</p> <p>大町小は、歴史も60年以上の学校で、3世代にわたって大町小に通っている(いた)、という地域の方も、多くいらっしゃいます。地域に大切にされている学校です。先生方も、子供達も、保護者も、地域の方々も、『大町小』と『大町っ子』を、大切に思う気持ちは、強く、「守りたい！」かけがえのない存在といえます。人数の少なさで、事務的に統廃合に向けて進めるのではなく、どうか、もっと”大町小”の中身を、じっくり見て、知って、どんなに唯一無二な学校かを、ぜひ感じていただいた上で、どうすれば、子供達にとって一番幸せで、安全で、安心なのか、ということをご検討していただければ、と、切に願っています。</p>
23	<p>大町小学校は、設立当初より通学区域が少なく、花咲町の開発局の官舎などに住む子供が通う小学校が遠い等の問題を解決するために作られた学校です。人数が少なすぎるのが問題であれば大有小や向陵小学校の区域で、大町小学校に近い所は大町へ、人数が【判別不能】人ぐらいになるように区域を広げ、区域変更をしてほしいです。現在人数が1クラスぐらいで、先生が2人ぐらいついてくれているので(低学年)先生が目が行きとどき、今問題のイジメや不登校は起きにくい環境です。全校生徒が知っていて、高学年は低学年のお世話を自然に出来ている所も、少人数学校の良い所だと思います。</p> <p>人間関係が希薄になっている今、ここ大町は年配者が多く、子供が少ない地区。お互いが協力し合って生活できるように、地域の人も学童(今やっているみちくさクラブ)などで共にふれ合って活動する企画など、考えていく必要があると思います。</p>
24	<p>日章小学校をなくさないでほしい。旭川市の伝統のある、とても素敵な小学校です。子供たちもいつも楽しく通わせていただいています。子供二人が通っていますが、卒業させてあげたいです。</p>
25	<p>小規模学校や小規模教育がなぜ子供にとって良くないと言えるのでしょうか？小規模の学校の教育こそが一人一人を大切に出来るものではないのでしょうか。以前通っていた小学校では1クラス30人程がいましたが、正直担任の先生だけでは全ての児童に目が届ききれず、いじめや学力の差の大きさを感じていました。ただこれが普通の小学校の現実だと思います。</p> <p>その後【年数】前に日章小学校に転校することになりましたが、少数だからこそその丁寧な指導によりいじめはもちろん皆無、子供達の学力の向上も日々感じております。</p> <p>さらに旭川中心部の小学校を無くすということは市の衰退に繋がるのではないのでしょうか？旭川市最初の公立小学校という歴史も踏まえて今後も残す方向で考えて頂きたいです。</p>

受付 番号	御意見
26	<p>【日章小学校の統廃合について】 元・日章小PTAです。</p> <p>旭川市では、平成12年から2期17年間にわたり、中心市街地活性化基本計画に基づき、中心市街地活性化に向けた各種取組を進めて来られました。</p> <p>基盤整備が進み、毎年大盛況の食べマルシェなど、イベントの賑わいが生まれていますが、日常的な活性化の実感には至っていません。</p> <p>平成29年12月に決定した新たな中心市街地活性化基本計画では、これまで整備してきた基盤や今ある資源を有効活用し、市民自らの手で「日常的ににぎわうまちなか」に向けた取組を進めることとしています。</p> <p>その計画の目標として、 「まちなかに来る」 「まちなかの滞在時間を延ばす」 「まちなかに住む」 の3つを設定しています。</p> <p>そこで、本計画の対象エリアとなっている「平和通り北エリア」「旭川駅前エリア」は、日章小学校の校区です。</p> <p>この地域から小学校を無くすことは、3つ目の目標である「まちなかに住む」を遠ざけることに直結します。</p> <p>しかしながら、今後、日章小学校の児童数は減少の一途を辿ることは明らかなです。</p> <p>そこで、ご提案したいのは、日章小学校を「特認校」にする案です。</p> <p>今現在、旭川市には富沢小・第五小の2つの特認校があります。</p> <p>両校とも「大自然の中での教育」を謳っている小規模校ですが、実際のところは、不登校やいじめなど、大人数の学校でつまずき、小規模校を希望されてくるお子さんが大多数です。</p> <p>しかしながら、時代の流れで、共働き家庭が大変多く、「保護者による送迎」が必須条件の両校なので、入学を諦めざるを得ないお子さんがたくさんいるのが現状です。</p> <p>その点、日章小の立地ではこの問題をクリアできる場合が多数あります。</p> <p>街中の学校とは思えないほど、家族のように温かい校風で育った日章小の子供たちは、みんな子どもらしく、素直な子供に育っています。</p> <p>小規模校を希望され、日章小校区に引っ越しをしてくるご家庭もあるくらいです。</p> <p>中心部活性化、人々(特に若い世帯)がまちなかに住む、そして共働きのため特認校入学を諦めているお子さんのためにも、「旭川市で一番まちなかの特認校」を設置していただきたいです。</p> <p>問題が山積みなのは百も承知ではございますが、是非、ご検討頂きたく、お願い申し上げます。</p>
27	<p>日章小学校は120年以上の歴史ある伝統校で、また旭川市街の中心にあることからその存在意義は大きいものと考えています。旭川市街は多くの企業があり、子育て世代の通勤族の方々も多く、会社の近くに住まれることから、やはりその近くに小学校がなければ、旭川そのものが敬遠されてしまう可能性があるのではないのでしょうか。旭川の中心部活性化のためには、若い世代が集まってもらうことが重要で、日章小はその役割を担っているものと思います。また、日章小は年々人数の減少が深刻な問題になっていますが、学童を設けていないことも、理由の一つと考えています。人数が少なくても、働く親たちのために、そのような施設があれば、また人数がおのずと増えていくでしょうし、人数が少なれば少ないなりのメリット(教師の目が行き届くなど)なども市や学校、在校生の保護者がアピールすることも重要ではないのでしょうか。旭川中心部の活性化のためには、日章小の存続が必要であり、廃校になることを強く反対することをここに意見いたします。</p>

受付 番号	御意見
28	<p>私は、【氏名】と言ひ、平成25年度から現在まで日章小学校PTA会長、平成30年度より【住所】町内会長を務めております。また、平成15年より市内中心部にて飲食店を経営しております。</p> <p>この度発表された『旭川市立小・中学校適正配置計画(改訂案)』の「第二期における日章小学校の統合」について、市内中心部に定住し商売をして生計を立てている者として、また旭川市の発展、教育福祉の充実、安心安全な街を強く願う者の一人として意見申し上げます。</p> <p>結論から申し上げますと、日章小学校の統合に強く反対致します。併せて、計画案の見直しも強く求めます。</p> <p>理由は下記の通りです。</p> <p>1, 旭川における義務教育の拠点の1つとして</p> <p>①日章小学校は旭川市初の公立学校として、市教育の発祥の地として127年の歴史があり、現在でも様々な研究・協議などが行われ、成果を上げている。</p> <p>②他校で馴染め無かったり、その学校が対応出来ない子どもたちが、日章小学校で改善された例がある。街中にありアクセスも良く、近隣に様々な施設があり、日章小学校を中心部にある「特認校」と出来ないものか。また近年の共働きの増加からも、児童の送り迎えの利便性が良い。</p> <p>2, 旭川の中心部活性化の重要拠点として</p> <p>①平成29年12月に発表された『旭川市中心街地活性化基本計画』に、中心市街地の居住増加が目標として掲げられている。その計画の対象地域内の唯一の小学校としてかなり重要な役割を担っている。もし、日章小学校が無くなれば、この地域のファミリー層の定住は激減し、ドーナツ化現象が急速に進み、中心街活性化の障害となる。</p> <p>3, 策定案の不均等について</p> <p>①日章小学校の校区は、近隣の他の小学校区よりも狭く知新小学校区の半分位であり、併せて校区には買物公園、常磐公園、各事業所、施設など、もともと人が住めない建物も多くあり、児童数100名以下を対象とする今回の案では、かなり不利な状況である。</p> <p>先ずは統合よりも、校区を見直し、中央ブロックにある小学校児童数の平均化を図るべきではないか？</p> <p>以上、宜しくお願い致します。</p>